不具合の点検を依頼する場合

不具合の点検を依頼する場合

まずご使用の製品のF/Wが弊社HPで公開しているVerより古い場合はUPDATEして改善されるかを最初に試して下さい。
常に症状の出ていない場合は、お客様のほうで不具合状況を確認出来る写真or動画の撮影をお願いします。
その後取り付け業者にてご相談下さい。直接不具合動画を確認出来る場合は業者へ視聴してもらい判断をお聞きください。
製品のF/Wアップデートで改善する内容でしたらUPDATEとなりますが、最新F/Wでも改善されない場合は
本体を取り外し弊社までお送り下さい。(保証書必須)
端子など外傷がある場合は有償となりますので、各端子類の状況など確認して下さい。

※端子損傷で基板にまで損傷が達している場合は全損で、基板交換(有償)となります。

お客様or取り付け業者様の方で弊社へメールにて点検依頼をお願いします。

メール宛先 staff@a-tack.net
件名 AT-VEM9192HD 不具合点検

メールには
- ●ユーザー名
- ●取り付け依頼店
- ●取り付け車両名と年式
- ●製品シリアル番号
- ●不具合内容

○ 不具合が発生する条件などが有れば詳細を記入して下さい。
(使用開始直後/30分後ぐらいからなど‥‥発生頻度など‥‥)

抽象的な不具合内容の記載だと確認に期間を必要とする場合が有ります。また不具合確認出来ない場合も有ります。
不具合が当製品の影響と断定した検証内容など、なるべく詳しく記載してください。

● ダウンロードURL(動画などネットサービス経由の場合)
写真の場合は添付にて送信で構いません。15Mを超えるファイルはネットサービス経由で行ってください。

動画ファイルの場合はファイル容量がありますのでネットサービス経由などをご利用下さい。

ギガファイル便 使い方(スマートフォンから)
QR コードよりギガファイル便のページにアクセスします。(https://gigafile.nu)
ページ上部は広告です。少し下へスクロールして下さい。
アップロードする部分で「ファイルを選択」をタップします。
スマートフォンに記録した動画ファイルを選択します。
ファイルがクラウド上に転送されてダウンロード用の URL が発行されます。
この URL をタップ 2 回してコピーして、弊社に送るメールにペーストして下さい。

https://gigafile.nu

ファイルが複数ある場合は全てのファイルをクラウド上に転送後、「まとめる (URL 発行)」をタップすると纏めた URL が発行されますのでその URL を 2 回タップしてコピーし、メールにてお知らせください。
弊社でメール内容から動画を確認し、取り付け業者様から製品が弊社に届き次第点検確認致します。
発生頻度が極端に少ない場合は確認に日数を要しますのでお時間が掛かります。

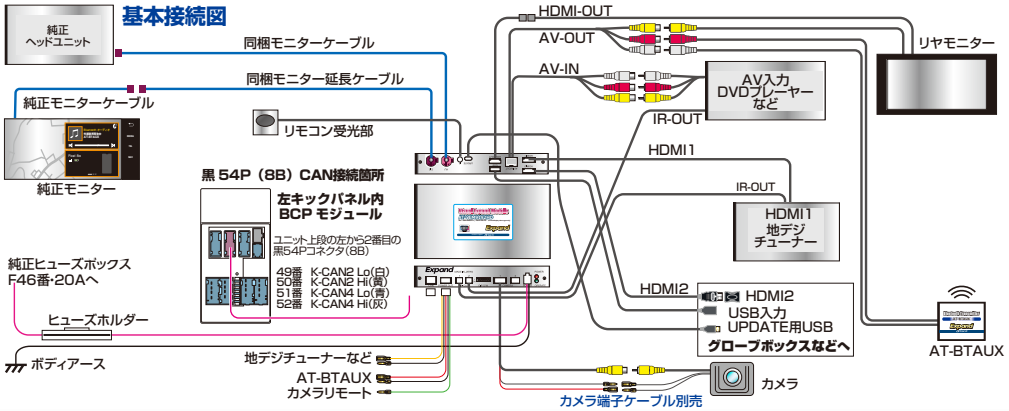
発生頻度が少ない場合は本体不具合より別原因の可能性が高いので
車両確認を確実に実施後に依頼するか検討して下さい。

修理内容などメールにて返信致します。
修理後、取り付け業者様宛てに製品を配送致します。

※F/W が古いまま送られて来た製品は UPDATE 後の検証で一通りの動作に問題なければ返却となり
長期検証は行いません。
必ず不具合は最新 F/W でも再現されしまうのか確認のうえ点検依頼をして下さい。

※不具合の確認出来ない製品は送料着払いでの返却となります。

基本接続図



Visual Expand Module
AT-VEM9192HD

OS8 MGU21 / OS9 IDC23 (Curved display short type only)

MADE IN JAPAN

Ver1.0X.XX

USERS MANUAL

Expand

コントロール対応地デジチューナーはExpand AT-DTV4X/Pro、Elut AG406DT、アルパイン/TUE-T500のみです。
(TUE-T500は別売のAT-IR335が必要です。TUE-T500は音声が小さい傾向にあるのでお勧めしません。)

コントロール対応DVDプレーヤーはElutAG410-DVです。(別売のAT-IR335が必要です。)

HDMI入力する機器がHDMI-CEC機能に対応していれば車両スイッチにてコントロール可能です。
(Amazon FireTVやGoogleTVなど。機器側の設定も必要です。)

Bluetoothオーディオトランスミッター AT-BTAUX付属

⚠注意

当製品は車両CAN信号とモニタータッチ操作信号を基に動作致します。
車両CAN信号は予期せぬ不具合の発生を避ける為に、検査するのみで制御は行いません。その為、基本的な操作はタッチ操作をメインとします。純正機能の動作に影響の無い操作のみ純正スイッチ部へ操作を割り振っています。
当製品は外部映像機器を車両モニターに入力する為の機器です。
車輌の電子機器ユニットや当製品などは高度に制御されていますが、稀に外来ノイズの影響などで正常動作が出来なくなる可能性が有ります。
PCやスマートフォンなどが稀にフリーズなど正常動作が出来ない不具合が起きるのと同様とお考え下さい。
正常動作出来ない場合は当製品の再起動をお試し下さい。
詳しくは17ページ以降をご覧ください。
車両起動時は最初にモニター映像信号の品質確認動作が入ります。その為映像が表示されるまで6~10秒掛かります。
CarplayやAndroidAutoを利用する場合は自動接続にせず使用する時のみ車両側で接続許可するような使用方法を推奨します。
CarplayやAndroidAutoはワイヤレスで接続される為、勝手に車両のAVソースがCarplay or AndroidAutoに移行してしまう場合が有ります。当製品では勝手にAVソース移行した事を検知出来ない為、外部AV映像が映ったまま音声が違うものが再生されるなどが発生する可能性が有ります。
CarplayやAndroidAutoを利用するならば、外部映像を視聴する前に車両側でCarplay or AndroidAutoの接続を解除する使い方を推奨します。
MAPは純正では無くCarplay or AndroidAutoを使用したいという使い方も可能では有りますが、当製品の操作に制限が出ます。
　外部映像の呼び出し方法は2種類用意してますがステアリングスイッチのみ対応出来ます。それ以外の呼び出し方法では純正MAPとなります。
Carplay or AndroidAutoを利用設定したままでの当製品の動作で動作不具合は弊社では対応致しません。
ボイスコマンドによるDriveの操作なども当製品では検知致しませんので、そのような操作をすると予期せぬ動作となる可能性が有ります。ご注意下さい。
外部機器の音声再生はBluetoothオーディオ経由で再生されます。
Bluetoothオーディオ機能はAT-BTAUXで使用しますので、他の機器ではBluetoothオーディオとしての接続がされないように接続機器の登録を行ってください。
車両が他のBluetoothオーディオ機器を検索する動作時にノイズが発生します。これは車両システムの仕様です。

a-tack 株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

もくじ

1　もくじ、商品構成
2　再生される音声について、 VEMメニューの操作方法
3　メニュー項目説明1　ラストソース、リバースアクションの設定
4　メニュー項目説明2　アクションタイミング、カメラリモート、VEMセーフティの設定
5　メニュー項目説明3　外部AV入力の設定
6　メニュー項目説明4　カメラ入力の設定
7　外部AV映像の表示方法
8　外部AV映像の表示パターンの変更方法
9　車両スイッチによる外部機器のコントロールDTV
10　車両スイッチによる外部機器のコントロール
11　USBメディアソースのコントロール
12　使用上の注意 / 当製品のアップデート方法
13　故障かな?っと思ったら・・・・1
14　故障かな?っと思ったら・・・・2
15　不具合点検依頼について

商品構成

商品構成

AT-VEM9192HD本体

HSDモニター
ケーブル

HSDモニター延長
ケーブル

2P 電源ケーブル

4PCAN接続ケーブル

12P AV入出力ケーブル

HDMIケーブル(2本同梱)

HDMIオス/メス変換

5P電源出力ハーネス

3Pリモート
コントロールケーブル

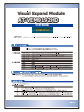
USB Aタイプ
延長ケーブル

USB UPDATEケーブル

AT-BTAUXを付属

AT-BTAUX用ハーネス

保証書

ユーザーマニュアル(本紙)

セットアップマニュアル

別売オプション

IRケーブルAT-IR335(アルパインTUE-T500、ELUT AG410DVのコントロールをするのに必要です。)
6Pカメラ変換ハーネスAT-1CAM6P(カメラ1入力にRCAタイプのカメラを接続するのに必要です。)
4Pカメラ変換ハーネスAT-2CAM4P(カメラ2入力にRCAタイプのカメラを接続するのに必要です。)

故障かな?っと思ったら・・・・・

何らかの不具合が発生した場合

車両や当製品は高度に制御されたデータ通信により動作しています。
何らかの影響で通信エラーなどが起きた場合、正常動作出来なくなる場合が有ります。PCやスマートフォンなどでも起り得る再起動を必要とする症状です。
当製品は再起動動作も搭載しています。
常時発生している不具合では無く稀に起きる不具合の場合、写真や動画で不具合の状況を撮影お願いします。
弊社に製品点検依頼の場合、不具合状況の写真or動画の提供が必要となります。

当製品の再起動

- モニターベゼルのBACKアイコン7秒タッチ
- ステアリングM/Fの♫ボタン7秒長押し
  再起動動作後はモニターがブラックアウトして表示されるまで10～20秒ほど掛かります。
  ※OS8車両でこの操作を行った場合、再起動後にVEMメニューを開く動作を行ってください。通信信号設定が記憶されます。
- 車両OFFにして第2スリープまで放置後の起動
  車両スリープの概念が判別し難くなってます。車両をロックして5分ほど放置します。(車両付近でキーリモコンは動かしてはいけません)

純正ヘッドユニットの再起動

- オーディオボリュームボタン20秒長押し (iDriveシステムのリセット再起動)
  純正機能のヘッドユニット再起動動作です。
  ヘッドユニット内に蓄積されたエラーなどは車両スリープでは消えず、動作不具合が継続する内容などが有ります。
  このオーディオボリュームボタン20秒長押しのiDriveシステム再起動は定期的に行うのが良いと思われます。
  ※外部機器とのペアリングが上手く行かない場合は大抵これで直ります。

- 車両OFFにして第2スリープまで放置後の起動 (車両各ユニットの電源喪失後の再起動)
  車両ロックを掛け5分ほど放置です。車両キーを動かすなどすると上手くスリープに入りませんのでご注意下さい。
  ※この第2スリープまで突入させる方法が車両のほとんどのユニットがスリープに入る為、ユニット間の整合性も整います。
  ※確実に第2スリープに入ったか確認するには例えばシガーソケットにランプなどが点灯する機器を接続します。
  第2スリープに入るとシガー電源も停止しますのでランプ消灯で確認出来ます。

昨今の電子機器は高密度化されたモジュール構造でデータ通信制御されています。外来ノイズなどの影響で稀に不具合が発生したりする場合が有ります。
これは避けられない不具合でもありますが、頻発する場合は何らかの原因が考えられます。
取り付け業者にご相談下さい。
他の電子機器からのノイズの原因なども考えられます。電波を使う機器などは技適適合している製品か確認し、未認可の製品は違法ですのでご使用をお止めください。
その他、標準以外の電装品が後付け装着されいる場合、それらがノイズを発しているケースも有ります。安いコピー商品などに多い傾向が有ります。
不具合の切り分けを必要とする場合、外部の電装機器を取り外してみて様子をみるのも必要です。
沢山ノイズを発生している他車両との並走などでも影響が出る場合が有ります。
ドラレコやレーダー探知機などの機器や5V電源出力アダプターなどもノイズ発生する製品が有ります。信頼のあるメーカー製をご使用下さい。
LEDバルブ類などもノイズを発生している場合が有ります。ご注意下さい。

昨今の電子機器は高密度化されたモジュール構造でデータ通信制御されています。外来ノイズなどの影響で稀に不具合が発生したりする場合が有ります。
これは避けられない不具合でもありますが、頻発する場合は何らかの原因が考えられます。　取り付け業者にご相談下さい。
他の電子機器からのノイズの原因なども考えられます。電波を使う機器などは技適適合している製品か確認し、未認可の製品は違法ですのでご使用をお止めください。
その他、純正以外の電装品が装着されいる場合、それらがノイズを発しているケースも有ります。安いコピー商品などに多い傾向が有ります。
不具合の切り分けを必要とする場合、外部の電装機器を取り外してみて様子をみるのも必要です。
沢山ノイズを発生している他車両との並走などでも影響が出る場合が有ります。
ドラレコやレーダー探知機などの機器や5V電源出力アダプターなどもノイズ発生する製品が有ります。信頼のあるメーカー製をご使用下さい。　LEDバルブ類などもノイズを発生している場合が有ります。ご注意下さい。

故障かな?っと思ったら・・・・・

外部AV映像に切り換わらない・・・・・

● 当製品がリバースアクション中の場合には外部AV映像には切り換わりません。PDC-ON中orバック中など。
　バック移動後に「P」で操作する場合、PDCがONの状態のままなのでそれが原因の可能性があります。
● PDC-OFFでHOMEアイコン長押しでVEMメニューが表示されるなら当製品は正常動作しています。VEMメニューで各入力の設定を確認して下さい。
● 上記いずれにも該当せず動作しない場合は電源のヒューズ切れの可能性が有ります。電源を確認して下さい。

走行中に外部AV映像が観れない・・・・

● 当製品は安全の為デフォルトでは停車中のみ外部AV機器の視聴が可能です。
　VEMメニューの設定でセーフティ解除をする事で走行中の視聴が可能になります。これは同乗者の為の機能です。
　　※外部AV映像小窓表示の場合はVEMセーフティON状態でも走行中視聴可能です。

音声が再生されない・・・・

● 車両メディアソースが外部音声入力をしたAT-BTAUXソースにされていますか?
　オーディオソースがBluetoothのAT-BTAUXを選択されていないと音声は再生されません。
　モニターベゼルの「TEL」を押しAT-BTAUXのBluetoothオーディオアイコンが点灯しているか確認して下さい。
● 外部機器のボリュームや車両のボリュームが最小もしくはミュートになっていませんか?ボリューム操作を行ってみてください。
　（オーディオミュート中は外部映像にミュートアイコンが表示されるように致しました。）
● Carplay orAndroidAutoを利用していませんか?車両とはワイヤレス接続の為、勝手に車両メディアソースがCarplay or AndroidAutoに移行してしまう場合が有ります。
　　当製品を使用する場合はCarplay or AndroidAutoの自動接続をしないように設定で変更して下さい。

外部機器の操作が車両スイッチやタッチアイコンで操作出来ない・・・・

● 接続した機器とVEMメニューで設定したコントロール機器が合っていますか?地デジチューナーなどの機種に合わせて設定して下さい。
● リモコン操作では反応しますか?反応しない場合、外部機器までのリモコン信号線の確認が必要です。 一旦、受光部を当製品を介さずに直接外部機器に接続してリモコン反応する場合は当製品の信号出力ICの故障orIRケーブルの断線が考えられます。

外部機器の操作が車両スイッチやタッチアイコンで操作出来ない・・・・

● 接続した機器とVEMメニューで設定したコントロール機器が合っていますか?地デジチューナーなどの機種に合わせて設定して下さい。
● リモコン操作では反応しますか?反応しない場合、外部機器までのリモコン信号線の確認が必要です。
　一旦、受光部を当製品を介さずに直接外部機器に接続してリモコン反応する場合は当製品の信号出力ICの故障orIRケーブルの断線が考えられます。

画面がブラックアウトした・・・・・・モニターベゼルのアイコンも消灯・・・・・

● 何らかのエラーで純正モニターが映像信号を処理出来ない状態になった可能性が有ります。ステアリングM/Fの♫ボタンを7秒ほど長押しして下さい。
　これで復活するかお試し下さい。復活しない場合は車両を第2スリープまで入れて下さい。
　　※OS8車両でこの操作を行った場合、再起動後にVEMメニューを開く動作を行ってください。通信信号設定が記憶されます。

画面がブラックアウトしBMWブランドロゴが表示される・・・・・

● 何らかのエラーで純正システムor当製品が動作不具合を起こした可能性が有ります。
　オーディオボリュームボタン20秒長押しすると純正ヘッドユニットが再起動致します。
　これで復帰するかお試し下さい。外部ノイズの影響など稀に起きる可能性は有ります。PCやスマートフォンなどでも起り得るエラーと同様とお考え下さい。頻発する場合はお買い上げ業者にご相談下さい。当製品が介入する為、モニターケーブルの接触不良が考えられます。
　（稀に起こるブラックアウトやBMWロゴ表示は当製品を取り付けていない純正状態でも起り得る症状です。）

画面がブルースクリーン・・・・・

● 外部AV映像入力に切り換えている状態でのブルースクリーンは当製品が映像信号無しを判断して出力しています。
　外部機器の電源及び映像線の接続を確認してください。
● 当製品の使用していない入力がUSE設定になっていませんか?使用していない入力はNOT USE設定にして呼び出されないようにします。
● VEMメニューの左側のサービス電源出力用の黄色いアイコンや赤いアイコンがOFF状態になってないか確認して下さい。
● カメラ入力を使用していないのに呼び出し操作ONになっていませんか?VEMメニューでOFFにしないと操作によっては呼び出される可能性が有ります。

純正映像の表示に不具合（ノイズが出る。揺れるなど・・・・・）

● 純正映像はHUから出力された後、当製品で処理して再出力を行いモニターで表示されます。
　外部映像の表示に問題無く、純正映像のみに不具合が出る場合、HU~VEM間のモニターケーブルの接触不良などが考えられます。
　両端の接続を抜き差しして改善するか確認が必要です。お買い上げ業者にご相談下さい。
● 外部後付け電子機器の影響で干渉している場合も考えられます。後付け機器の電源をOFFにして改善するか確認して下さい。

その他、動作不具合と思われる症状が出た場合、ボリュームボタン20秒長押しの純正ヘッドユニットの再起動動作を試してみて下さい。
稀に起こる不具合は外部ノイズの影響など回避不可の場合も有ります。PCやスマートフォンなどでも稀に不具合で再起動を要するのと同様とお考え下さい。
当製品は車両CAN信号とモニタータッチ信号を基に動作する製品です。
ディーラーなどでの整備の際に車両側のプログラムが更新された場合、当製品のF/Wとの整合性が合わなくなり正常動作出来なくなる可能性が有ります。
弊社HPで当製品の更新されたプログラムをUPしますので、使用している製品のF/Wが古い場合はUPDATEを行ってみて下さい。
コーディングなどを行った車両も同様です。仕様が変わる事でCAN信号データも変わる場合が有り一部機能が対応出来なくなる可能性が有ります。
　　当製品のF/WバージョンはVEMメニューの右上に表示されています。

再生される音声について

当製品に接続したAV機器の音声は車両のBluetoothオーディオから再生されるようになります。（指定の結線で設置した場合）
外部AV映像に切り換える場合は先に車輌オーディオソースをBluetoothオーディオに切換て下さい。
製品インストール時に適切に設定されていれば、車両オーディオソース内にBluetoothオーディオとしてAT-BTAUXが存在しているはずです。
車両起動時はBluetooth接続が未接続状態から接続動作となりますので数秒後に接続され外部AV機器の音声が再生されます。
スマートフォンなど携帯機器の登録の際にはそれら外部機器のBluetoothオーディオはOFFとしてハンズフリーのみ許可するようにして下さい。
Carplay or AndroidAutoは使用する場合のみ車両側で接続許可して使用時以外ではOFFにする事を推奨します。

（スマートフォンの音楽再生などはCarplay or AndroidAuto経由でWi-Fi接続にて再生可能ですのでBluetoothオーディオ接続はOFFにします。）

VEMメニューの操作

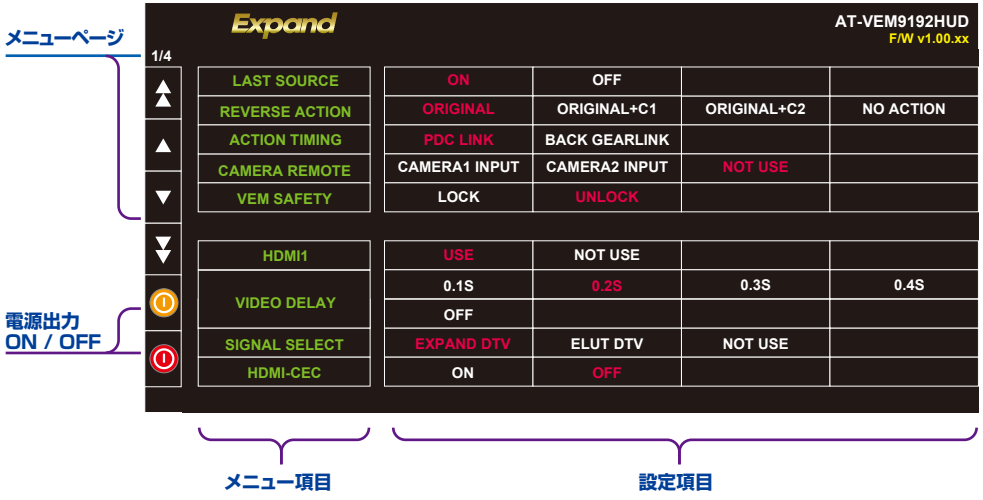
VEMメニューの操作

IG-ON（エンジン始動orスタートスイッチ3回操作で診断モード）で車両を起動して純正映像のHOMEアイコン（⌂）をロングタッチします。
当製品のVEMメニュー画面に切り換わります。画面右上には製品品番とファームウェアのバージョンが表示されます。
（OS8の場合、純正のTOPメニューに居る場合⌂アイコンは表示されません・・・・普段から⌂アイコンが表示される座標を
ロングタッチする事でVEMメニューが表示されます。）

※外部AV映像表示状態ではVEMメニューの表示は出来ません。純正映像に戻してからの操作となります。

縦に緑色文字表示でメニュー項目が並んでいます。右側が設定項目変更内容です。赤文字が現在の設定です。
左側のアイコン操作でメニューのページ変更が出来ます。
左上の「Expand」ロゴをタッチしますとVEMメニューから退出します。モニターベゼルのアイコン操作でも退出します。
左列の黄色い⏻アイコンと赤い⏻アイコンでは当製品のサービス電源出力のON/OFFのコントロールが出来ます。
（OFFにすると⏻→⏻、⏻→⏻になります。）
リヤモニターの電源などを5Pサービス電源から取得している場合、必要無い時にOFFに出来る機能です。
OFF設定は記憶されますので次回起動時はその状態が引き継がれます。

基本的に製品取り付け時にインストーラーが各設定を行っているはずです。
ユーザー様が設定を変更する場合、判らなくならないように現在の設定を写真撮影しておく事をお勧めします。
　　VEMメニューの各ページを撮影して保存しておきましょう。



メニュー項目説明1

「LAST SOURCE」

前回起動していた時の最後の視聴ソースを自動的に表示するかどうかの設定です。

● ON　前回最後に外部AV映像を視聴していた状態で車両OFFした場合、次回起動時に自動的にそのソースが呼び出されます。

※最後の状態がリバースアクション中の場合、リバースアクションに入る前のソースが最後の状態です。
※車両起動時に何らかのエラー表示が出た場合、内容確認前に外部映像に切り換わってしまいます。
外部映像の下側をタッチする事で純正映像に戻り、内容を確認出来ます。
この時のタッチ信号はヘッドユニットに伝わらないように制御していますので純正画面内容が変わらないようにしています。

● OFF　毎回起動時は純正画面となります。外部AV映像へは切換操作が必要です。
（デフォルト設定です。）

「REVERSE ACTION」

車両をバックギヤに入れた場合の当製品の動作をどうするかの設定です。

●「ORIGINAL」
外部AV映像視聴中でもバックギヤに入れたら純正画面に戻ります。純正バックカメラ映像となります。

●「ORIGINAL+C1」
リバースアクション中の純正画面の中に小窓表示でCAMERA1の映像も表示します。
小窓位置は画面タッチしてスワイプする事で移動可能です。ダブルタップするとデフォルト位置に戻ります。※一部車両では不可

●「ORIGINAL+C2」
リバースアクション中の純正画面の中に小窓表示でCAMERA2の映像も表示します。
小窓位置は画面タッチしてスワイプする事で移動可能です。ダブルタップするとデフォルト位置に戻ります。※一部車両では不可

●「NO ACTION」
リバースアクション動作を停止します。外部AV映像視聴中にバックギヤに入れても画面は切り換わりません。
外部AV映像+純正小窓表示などでカメラ映像は小窓だけで良い場合などにご使用下さい。

※全車純正バックカメラ付きなので外部カメラをバックカメラとして表示出来るリバース連動は搭載していません。

使用上の注意

外部AV映像の音が出ない場合

音が出ない場合はオーディオソースがBluetoothオーディオになっているか確認して下さい。
純正画面でAT-BTAUXが接続済みになっているか確認します。

ラストソース機能を使用の場合、音声再生の準備が整う前に切り換わります。
直後は再生されない場合が有ります。
小窓表示で純正映像を表示していた場合、ラストソースで呼び出す
画面はAV小窓となります。
AV小窓部分をタッチする事で入れ替わります。

スマートフォンなどハンズフリー接続をする場合の注意

車両にスマートフォンのBluetooth接続設定をする場は、スマートフォン側の設定で車両とのBluetooth接続設定でメディアのオーディオをOFFにしてご使用下さい。
Bluetoothオーディオとしてスマートフォンのメディア再生は出来なくなりますが、メディア再生はCarplay or Androidautoで
Wi-Fi経由で再生可能です。
Bluetoothオーディオ接続は外部AV機器再生のAT-BTAUXで使用します。
他の機器の登録が有ると起動時にどちらが選択されるか判りません‥‥
またAT-BTAUX接続が確立しても、車両が他のBluetoothオーディオ接続を検索する際に音声にノイズが混入しますので、他のBluetoothオーディオ機器は登録しないようにして下さい。

当製品のアップデート方法

当製品のアップデート方法

当製品は製品の安定性向上や機能改善など常にF/Wの改良を行っています。
車両のF/Wが更新される事で整合性が合わなくなる事も考えられますので、製品のF/Wが古い場合更新をお勧めします。
新しいF/Wは弊社HPの製品紹介ページで公開しています。

前準備

※弊社製品HPから最新F/Wを作業に使用するノートPCにダウンロードして解凍します。AtackDFUアプリ&ドライバーもインストールしておいて下さい。
※UPDATEに使用するPCの準備の方法は弊社製品HPから確認して下さい。

UPDATE手順

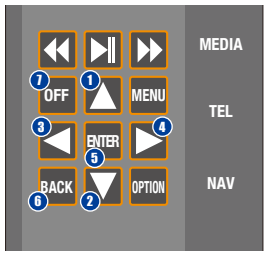
❶ UPDATEケーブルがPCと接続できるように準備します。（まだ接続しません）
❷ 車両ドアキャッチを疑似ロックしてリモコンキーで車両ロックします。（ドアを開けたままロックするという事です）
❸ 車両が第2スリープに入るまで放置します。（キーリモコンを動かしてはいけません）
❹ PCのAtackDFUアプリを立ち上げ車両が第2スリープに入ったらUPDATEケーブルをPCと接続します。
❺ PCのAtackDFUが「デバイスが接続されました」となるので「ファームウェア選択」をクリックして最新F/Wをマウントします。
❻ AtackDFUの「アップデート」をクリックすると消去→書き込み→検査と続き、「ファームウェアが一致します」となれば完了です。
❼ UPDATEケーブルをPCから取り外して車両をアンロックしてIG-ONにします。新しいF/Wで起動します。
❽ VEMメニューを開いて右上のプログラムVerが最新になっているか確認します。

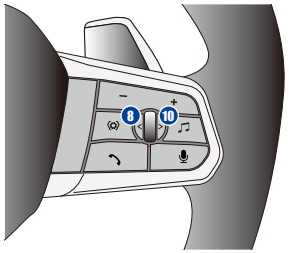
※PCと接続出来ない場合は第2スリープに入っていない可能性が有ります。
※車両スリープ状態や当製品を取り外した状態などの電源を喪失している状態ではUPDATEケーブルをPCと接続すれば常にUPDATE可能です。

USBメディアソースのコントロール

USBメディアソースのコントロール

※USBメディアソースはアプリのコントロールアイコンを直接操作は出来ません。2点タッチで表示させる操作アイコンを利用して操作します。





アイコン/スイッチでの操作

「↑」アイコン	❶ 短押し	❶ 画面内アイコンの↑移動
「↓」アイコン	❷ 短押し	❷ 画面内アイコンの↓移動
「←」アイコン	❸ 短押し	❸ 画面内アイコンの←移動
「→」アイコン	❹ 短押し	❹ 画面内アイコンの→移動
「ENTER」アイコン	❺ 短押し	❺ 決定操作
「BACK」アイコン	❻ 短押し	❻ 戻る操作
「OFF」アイコン	❼ 短押し	❼ 操作アイコンの消去
オーディオ┆◀◀ボタン	❽ 短押し	❽ 前のファイル
オーディオ┆◀◀ボタン	❾ 長押し	❾ 一時停止
オーディオ▶▶┆ボタン	❿ 短押し	❿ 次のファイル
オーディオ▶▶┆ボタン	⓫ 長押し	⓫ 再生
ステアリングJOG←操作	❽ 短押し	❽ 前のファイル
ステアリングJOG→操作	❿ 短押し	❿ 次のファイル

操作アイコンの表示方法

外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。
(2点間は20mmほど離れるようにタッチして下さい。)
消すには「OFF」アイコンを操作します。

その他のタッチパネルによる操作(チャンネル操作)

モニターに映る外部AV映像の右側/左側を1秒ほどタッチすると
次▶▶/前◀◀の操作が出来ます。

※この入力はレジューム機能は有りません。
次回呼び出し時はTOPメニューから表示されます。

カメラ映像の呼び出し方

カメラ映像の呼び出し方

当製品にはカメラ1、カメラ2の入力が有り2系統のカメラを接続する事が出来ます。
VEMメニューで設定された呼び出しボタンを2連打します。 カメラ映像はFULL画面で表示されます。
カメラ映像を消すにはモニター下部をタッチするかモニターベゼルのBACK、MEDIA、TEL、NAVなどを押します。 純正画面に戻ります。
カメラ映像に切り換える前が外部AV映像視聴中だった場合などは、カメラ映像を消す時に外部AV映像の呼び出し操作をして下さい。

※カメラ映像を呼び出す事で外部AV映像表示動作はOFFとなってます。
(ViewPoint機能で自動呼出しされる場合のみリバースアクション同様に元の映像に戻ります。)

アルパイン製のフロントカメラを装着した場合の操作

アルパイン製のフロントカメラには表示映像を3パターン切り換えできる機能が有ります。
カメラ映像の中心部分をタッチする事で表示パターンを切り換え出来ます。
純正バックカメラ付き車両に後付けカメラを装着した場合、リバースアクションにて純正映像(バックカメラ+PDC)が表示される画面内にカメラ1orカメラ2の映像を小窓表示させる事もVEMメニューの設定で可能です。3ページ参照。
この小窓表示はタッチ操作にて任意の場所に調整可能です。場所移動は記憶され次回も同じ場所に表示されます。

当製品のカメラ入力を利用した場合は「View Point」機能が利用可能です。これは予め登録した場所で自動的にカメラ入力を呼び出す機能です。
フロントカメラ装着していたらとても便利に使用出来る機能ですので是非ご利用下さい。8ページ参照。

リヤモニター出力について

当製品にはリヤモニター出力としてコンポジット出力とHDMI出力を各1系統装備しています。
フロントの純正モニターで表示している外部AV映像入力と同じ入力を出力します。HDMI端子の出力は720pです。※純正映像は出力出来ません。

当製品のパワーアウトよりリヤモニター電源を取得しているならば、VEMメニュー操作で任意に電源のON/OFFが可能になります。
リヤに同乗者が居ない場合など、リヤモニターをOFFしておく事が可能です。2ページ目参照

メニュー項目説明2

「ACTION TIMING」

リバースアクションの動作タイミング設定です。

● 「PDC LINK」
車両のPDC-ONに連動してリバースアクションが動作します。純正バックカメラはバック時PDCも同時起動しますのでバックギヤから抜いてもPDC-ONなのでリバースアクションは終了しません。
PDCをOFFにする操作でリバースアクションは終了します。純正の動作と同じタイミングで動作する設定です。

※バックの後、前進走行を数十メール走るか速度を上げる事でもPDCはOFFになります。
※バックの後、パーキングポジションで外部AV映像を視聴するには車両のPDCボタン操作でPDC-OFFにして下さい。

● 「BACK GEAR LINK」
リバースアクションはバックギヤに入れている時のみ動作する設定です。
バックギヤから抜くと元の画面に戻ります。

※PDC動作判定は検査しませんのでオートPDC動作に追従は出来ません。

「CAMERA REMOTE」

当製品のカメラリモート入力線に+信号が入力されるとカメラ入力を強制的に表示する事が可能です。
その設定項目です。
使用していない場合は「NOT USE」のままにして下さい。

● 「CAMERA1 INPUT」 リモート線に+信号が入力されるとカメラ1入力を強制的に表示します。
● 「CAMERA2 INPUT」 リモート線に+信号が入力されるとカメラ2入力を強制的に表示します。
● 「NOT USE」 使用しません。リモート線に+信号が入力されても無反応になります。

「VEM SAFETY」

当製品に接続したAV機器の映像を走行中でも視聴可能にするかどうかの設定です。

● 「LOCK」 AV機器の映像は停車時のみ視聴可能です。走行開始すると「安全の為、走行中は視聴出来ません」とOSD表示されます。停車すれば再度視聴可能です。

※VEM内蔵のUSBメディアソース選択で音楽ファイル再生中でも同様で走行中制限が掛かります。ご了承下さい。
※外部AV映像を小窓表示で使用中は「LOCK」状態でも走行中視聴可能です。

● 「UNLOCK」 外部AV機器の映像は常に視聴可能となる制限解除状態です。
同乗者の為のモードです。運転者はご注意下さい。

メニュー項目説明3 外部AV入力の設定

「HDMI1」「HDMI2」「AV」「USB」

各AV入力の設定です。

- 「USE」　この入力を使用します。
- 「NOT USE」　この入力を使用しません。入力ソース切換のアイコン表示にも表示されません。

「VIDEO DELAY」

AV入力での映像遅延機能を使用するかどうかの設定です。(各入力個別に設定が必要です)

- 「OFF」　映像遅延機能を無効にします。外部機器側の遅延機能を使用する場合や遅延の必要の無いオーディオソース入力を利用した場合の設定です。
- 「0.1S」/「0.2S」/「0.3S」/「0.4S」
  映像と音声に若干のラグが発生しているはずですので、映像を0.1秒単位で最大0.4秒まで遅らせる事が可能です。

「SIGNAL SELECT」

この入力に連動動作するリモコン信号の種類の選択です。

- 「EXPAND DTV」　弊社の発売するDTVチューナーAT-DTV4X、AT-DTV4X Proがコントロール可能です。
- 「ELUT DTV」　Elut製　AG406DTのコントロールが可能です。
- 「ALPINE DTV」　**AV入力のみ** アルパイン製地デジチューナー　TUE-T500のコントロールが可能です。
  (別売のケーブルAT-IR335での接続が必要です。)
- 「ELUT DVD」　**AV入力のみ** Elut製DVDプレーヤー　AG410-DVのコントロールが可能です。
  (別売のケーブルAT-IR335での接続が必要です。)
- 「NOT USE」　リモコン信号の出力は致しません。

「HDMI-CEC」

HDMI-CEC機能のON/OFF設定です。

- 「ON」　HDMI-CECの標準信号をHDMI端子経由で出力します。
  HDMI-CEC機能に対応した製品を接続した場合、車両スイッチやアイコンタッチ操作にてある程度の操作が可能となります。
  ※CEC機能で全ての操作が出来る訳では有りません。動作しない操作はリモコン操作して下さい。
- 「OFF」HDMI-CEC信号の出力は行いません。

USB入力の注意事項

日本仕様のOS9車両では純正オーディオにUSBソースの再生機能は無くなりました。
この入力はUSBメモリに記録した音楽ファイル、動画ファイルなどを再生するメディアプレーヤー機能となっています。

※USB接続のHDDなどは接続しないでください。電力不足など不具合の原因となります。
※.mp4 .avi .mpg .vob .dat .m4v .wmv .flv .mp3 .wav .flacなどのファイル再生に対応しています。
対応したファイル形式でもエンコード(ビデオフォーマット)の仕方によっては再生出来ない場合が有ります。
音楽ファイルはmp3のみファイルにマウントされたアルバムアートの表示に対応します。
※USB通信の無い充電専用ケーブルを接続する事でMAX1.2Aの電源出力も可能です。
※この入力は他の入力へ切り換えたり当製品再起動では前回最後の再生位置を記憶出来ずTOPメニューとなります。ご了承ください。

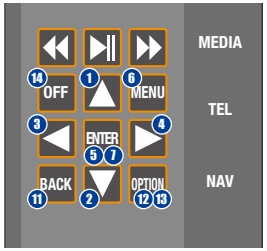
「MUTE ICON」

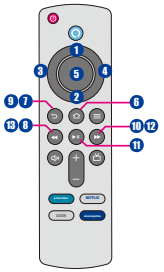
外部AV映像を表示中はボリューム操作やミュート操作を行っても状態は純正映像に表示されるので見る事は出来ません……
ボリューム操作は音量で判断出来るのですが、ミュート操作は音が消えるので誤操作などで消えた場合、不具合かも?っと思うかも知れません。
この機能をONにしておくと、外部AV映像表示中でもミュートONになればミュートアイコンが中央に表示されます。

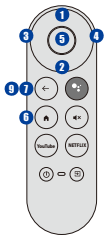
車両スイッチによる外部機器のコントロール

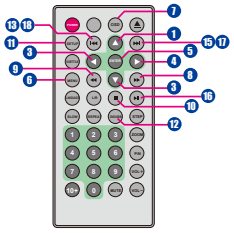
車両スイッチによる外部機器のコントロール(FireTV、GoogleTV、Elut DVDプレーヤー)

コントロール対応の機器を適切な結線、設定で行っていれば操作アイコン&車両スイッチにてある程度の操作が可能となります。 Elut製DVDプレーヤーAG410-DVはAT-IR335ケーブルを使用して接続され適切な設定が行われていれば車両スイッチにてある程度の操作が可能となります。 外部AV映像の中心部分を2点タッチして操作アイコンを表示して操作も可能です。









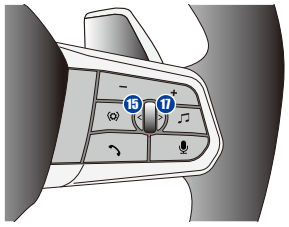
アイコン/スイッチでの操作	Amazon FireTV	GoogleTV	Elut AG410-DV
「↑」アイコン	❶ 短押し	❶ リモコンの↑ボタン	❶ リモコンの↑ボタン	❶ リモコンの↑ボタン
「↓」アイコン	❷ 短押し	❷ リモコンの↓ボタン	❷ リモコンの↓ボタン	❷ リモコンの↓ボタン
「←」アイコン	❸ 短押し	❸ リモコンの←ボタン	❸ リモコンの←ボタン	❸ リモコンの←ボタン
「→」アイコン	❹ 短押し	❹ リモコンの→ボタン	❹ リモコンの→ボタン	❹ リモコンの→ボタン
「ENTER」アイコン	❺ 短押し	❺ リモコンの決定ボタン	❺ リモコンの決定ボタン	❺ リモコンのENTERボタン
「MENU」アイコン	❻ 短押し	❻ リモコンのHOMEボタン	❻ リモコンのHOMEボタン	❻ リモコンのMENUボタン
「ENTER」アイコン	❼ 長押し	❼	❼	❼ リモコンのOSDボタン
「▶▶」アイコン	❽ 短押し	❽ ▶▶信号	❽ ▶▶信号	❽ リモコンの▶▶ボタン
「◀◀」アイコン	❾ 短押し	❾ ◀◀信号	❾ ◀◀信号	❾ リモコンの◀◀ボタン
「▶⁞⁞」アイコン	❿ 短押し	❿	❿	❿
「BACK」アイコン	⓫ 短押し	⓫ リモコンの戻るボタン	⓫ リモコンの戻るボタン	⓫ リモコンの■ボタン
「OPTION」アイコン	⓬ 短押し	⓬	⓬	⓬ リモコンのSETUPボタン
「OPTION」アイコン	⓭ 長押し	⓭	⓭	⓭ リモコンのDVD/USBボタン
「OFF」アイコン	⓮ 短押し	⓮ 操作アイコンの消去	⓮ 操作アイコンの消去	⓮ 操作アイコンの消去
オーディオ⁞◀◀ボタン	⓯ 短押し	⓯ ◀◀信号	⓯ ◀◀信号	⓯ リモコンの◀◀ボタン
オーディオ⁞◀◀ボタン	⓰ 長押し	⓰ リモコンの戻るボタン	⓰ リモコンの戻るボタン	⓰ 無
オーディオ▶▶⁞ボタン	⓱ 短押し	⓱ ▶▶信号	⓱ ▶▶信号	⓱ リモコンの▶▶⁞ボタン
オーディオ▶▶⁞ボタン	⓲ 長押し	⓲ ▶信号	⓲ ▶信号	⓲ リモコンの▶ボタン
ステアリングJOG←操作	⓯ 短押し	⓯ ◀◀信号	⓯ ◀◀信号	⓯ リモコンの◀◀ボタン
ステアリングJOG→操作	⓱ 短押し	⓱ ▶▶信号	⓱ ▶▶信号	⓱ リモコンの▶▶ボタン

操作アイコンの表示方法　外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。
(2点間は20mmほど離れるようにタッチして下さい。)消すには「OFF」アイコンを操作します。

その他のタッチパネルによる操作(チャンネル操作)
モニターに映る外部AV映像の右側/左側を1秒ほどタッチすると▶▶⁞/⁞◀◀の操作が出来ます。

※FireTV、GoogleTVの操作はVEMメニューの設定で
HDMI-CEC機能ONで使用の場合のみ操作可能です。
※FireTV側やGoogleTV側のHDMI-CEC設定が必要です。
※HDMI-CEC機能に対応しないHDMIケーブルを使用した場合、
操作出来ません。
※AG410-DVは標準機能として起動時の自動再生が行われます。
当製品は車両起動後30秒以内に当入力を呼び出さない場合は
自動的に一時停止信号を送り、裏で再生が進まないように制御し
ポーズ状態で待機するようにしてあります。

またDVD視聴状態から当製品の他ソースに切り換えた場合は
停止信号を送り待機状態とします。
DVD視聴状態から純正画面に戻る場合には停止信号を送りません。

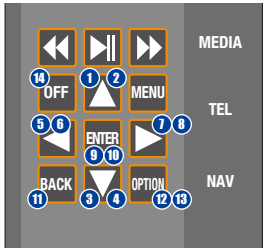


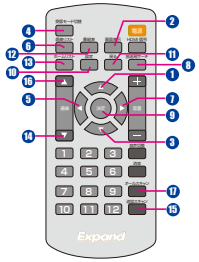
車両スイッチによる外部機器のコントロール

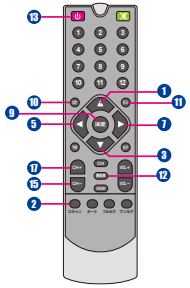
車両スイッチによる外部機器のコントロール（地デジチューナー）

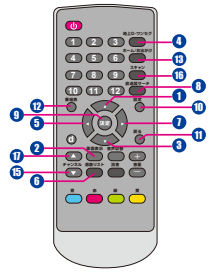
コントロール対応のDTV機器を適切な結線、設定で行っていれば車両スイッチにてある程度の操作が可能となります。

※iDriveコントローラーでの操作はスタンダードモードではFULL画面表示時のみ、エキスパートモードでは全ての画面サイズで可能です。
オーディオ部やステアリング部はどの画面サイズでも可能です。詳しくはオペレートモードの説明部分を参照してください。









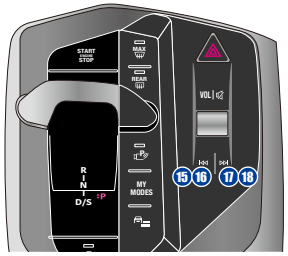
アイコン/スイッチでの操作		Expand AT-DTV4X /Pro	Elut AG406DT	アルパイン TUE-T500
「↑」アイコン	❶ 短押し	❶ リモコンの↑ボタン	❶ リモコンの↑ボタン	❶ リモコンの↑ボタン
	❷ 長押し	❷ リモコンの画面表示ボタン	❷ リモコンのスキャンボタン	❷ リモコンの画面表示ボタン
「↓」アイコン	❸ 短押し	❸ リモコンの↓ボタン	❸ リモコンの↓ボタン	❸ リモコンの↓ボタン
	❹ 長押し	❹ リモコンの受信モード切換ボタン	❷ リモコンのスキャンボタン	❹ リモコンの地上D←→ワンセグボタン
「←」アイコン	❺ 短押し	❺ リモコンの←ボタン	❺ リモコンの←ボタン	❺ リモコンの←ボタン
	❻ 長押し	❻ リモコンの選局リストボタン	❻ 無	❻ リモコンの選局リストボタン
「→」アイコン	❼ 短押し	❼ リモコンの→ボタン	❼ リモコンの→ボタン	❼ リモコンの→ボタン
	❽ 長押し	❽ リモコンの放送局サーチボタン	❽ 無	❽ リモコンの放送局サーチボタン
「ENTER」アイコン	❾ 短押し	❾ リモコンの決定ボタン	❾ リモコンの決定ボタン	❾ リモコンの決定ボタン
「MENU」アイコン	❿ 短押し	❿ リモコンの設定ボタン	❿ リモコンの設定ボタン	❿ リモコンの設定ボタン
「BACK」アイコン	⓫ 短押し	⓫ リモコンの戻るボタン	⓫ リモコンの戻るボタン	⓫ リモコンの戻るボタン
「OPTION」アイコン	⓬ 短押し	⓬ リモコンの番組表ボタン	⓬ リモコンの番組表ボタン	⓬ リモコンの番組表ボタン
	⓭ 長押し	⓭ リモコンのホームリストボタン	⓭ リモコンの電源ボタン	⓭ リモコンのホーム/お出かけボタン
「OFF」アイコン	⓮	⓮ 操作アイコンの消去	⓮ 操作アイコンの消去	⓮ 操作アイコンの消去
オーディオ⏮ボタン	⓯ 短押し	⓯ リモコンの選局↓ボタン	⓯ リモコンのCH-ボタン	⓯ リモコンのチャンネル↓ボタン
オーディオ⏮ボタン	⓰ 長押し	⓰ リモコンの追加スキャンボタン	❷ リモコンのスキャンボタン	⓰ リモコンのスキャンボタン
オーディオ⏭ボタン	⓱ 短押し	⓱ リモコンの選局↑ボタン	⓱ リモコンのCH+ボタン	⓱ リモコンのチャンネル↑ボタン
オーディオ⏭ボタン	⓲ 長押し	⓲ リモコンのオールスキャンボタン	❷ リモコンのスキャンボタン	❽ リモコンの放送局サーチボタン
ステアリングJOG←操作	⓯ 短押し	⓯ リモコンの選局↓ボタン	⓯ リモコンのCH-ボタン	⓯ リモコンのチャンネル↓ボタン
ステアリングJOG→操作	⓱ 短押し	⓱ リモコンの選局↑ボタン	⓱ リモコンのCH+ボタン	⓱ リモコンのチャンネル↑ボタン

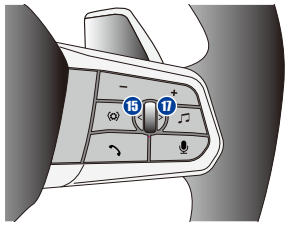
操作アイコンの表示方法

外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。
（2点間は20mmほど離れるようにタッチして下さい。）
消すには「OFF」アイコンを操作します。

その他のタッチパネルによる操作（チャンネル操作）

モニターに映る地デジ映像の左側/右側いずれかをタッチすると画面下部に10キーアイコンが表示されダイレクトに選局可能です。





メニュー項目説明4 カメラ入力の設定

「CAMERA1」&「CAMERA2」

カメラ入力の設定です。CAMERA1入力端子はダイレクト接続でアルパイン製フロントカメラが接続可能となっています。
カメラ入力は映像のみなので表示した時にも音声信号はそれまでの再生出力を維持します。
カメラ入力はFULL画面出力のみ対応しています。
両入力ともオプションのカメラ変換ハーネスでRCA接続対応とカメラ用電源供給が出来ます。
カメラ1/カメラ2は設定方法は共通なのでまとめて説明します。
※カメラ入力はOFFにする設定は用意していません。使用しない場合は下記の「CAMERA CALL」で呼び出し操作を全てOFFにして下さい。

「VIDEO SIGNAL」

接続したカメラの映像信号に合わせ選択します。当製品は通常のCVBS信号の他アナログHD信号にも対応しています。
設定切り換え後は当製品の再起動動作を行ってください。

- 「CVBS」 通常のRCA接続するアナログ信号のカメラの設定です。（デフォルト設定です。）
  ※NTSC方式のみ対応。PAL方式は使用出来ません。
- 「AHD」 AHD信号タイプのアナログHD方式を採用したカメラの設定です。
- 「HD-TVI」 HD-TVI信号タイプのアナログHD方式を採用したカメラの設定です。

「CAMERA1/2　CALL」

カメラ入力呼び出しする操作ボタンの選択です。（カメラ入力を使用しない場合、全てOFFにして下さい。）
※カメラ1とカメラ2で呼び出し方法が重複しないように設定します。重複した場合、先に登録されていたほうが破棄されます。

- 「MY MODES 2TOUCH」 センターコンソールのMY MODESスイッチを2連タッチ操作をします。（プッシュ決定では有りません、タッチのみです。）
- 「PDC 2TOUCH」 センターコンソールのPDCスイッチを2連タッチ操作をします。（プッシュ決定では有りません、タッチのみです。）
- 「M/F ♫ 2PUSCH」 ステアリングの♫ボタンを2連打で操作しますとカメラ入力が呼び出されます。
- 「MUTE 2PUSCH」 ボリュームボタンボタンを2連打で操作しますとカメラ入力が呼び出されます。

「POWER VOLT」

カメラ用電源の電圧設定の項目です。

- 「8V」 カメラ電源電圧を8Vで供給します。この電圧で動作しないカメラを接続した場合のみ12Vへ変更して下さい。
  ※接続するカメラにもよりますが起動電圧範囲が広い場合、低い電圧の方が綺麗に表示出来る傾向にあります。
- 「12V」 8Vで起動出来ないカメラを接続した場合のみ選択してください。
  ※アルパイン製フロントカメラは8V指定です。12V供給だと故障する可能性が有ります、ご注意下さい。

「POWER TIMING」

カメラ用電源の出力開始のタイミング設定です。

- 「CAMERA LINK」 カメラ入力を呼び出すと同時にカメラに電源供給を行います。カメラ表示をOFFにすると電源供給も停止します。
  ※接続するカメラによっては、カメラ表示直後に映像が安定しない場合が有ります。
- 「IG-ON LINK」 車両のイグニッションONに連動して電源出力を開始します。
- 「WAKE UP LINK」 車両がスリープから起きたタイミングで電源出力を開始します。

「VIEW POINT」

地点登録する事によりその登録地点に25km/h以下の速度で近ずくと自動的にカメラ入力を呼び出す機能です。

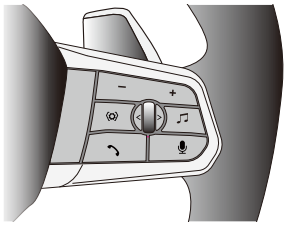
- 「POINT A」～「POINT H」

地点登録は8カ所可能です。
登録したい場所へ車両を移動してVEMメニューの「VIEW POINT」設定に入ります。
画面上部中央に現在の緯度経度情報が表示されます。
「POINT A～H」の何れかの未登録の白アイコンを選択しますと「登録地」に現在の緯度経度情報が記録されアイコン色が赤に変化します。
登録された赤アイコンを再度選択すると登録消去されます。
登録した地点の半径約30mに25km/h以下の速度で近ずくと自動的にカメラ入力画面に切り換わるようになります。
半径約30m以外に移動するか30km/h以上に加速するとカメラ表示は終了します。
見通しの悪い交差点や細い道などを登録すると便利です。
自宅駐車場などを登録した場合など、バックギヤに入れた時には設定したリバースアクション動作のほうが優先されますので
純正バックカメラ付き車両の場合はリバースアクションのアクションタイミングをバックギヤ連動にしたほうが良い場合も有ります。

外部AV映像の表示方法

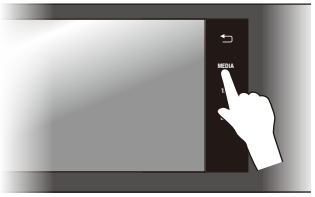
外部AV映像の表示方法

● ステアリングスイッチ操作



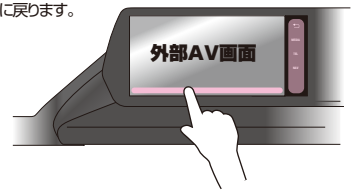
ステアリングの♫マークボタンを長押しします。
約2秒長押しで外部AV映像が表示されます。
ボタンを離すとメーターパネルorヘッドアップディスプレイにオーディオソース選択が表示されますのでJOG操作にてBluetoothオーディオを選択します。これで映像+音声が完成します。

● モニターベゼルに表示される「MEDIA」アイコンでの操作



まず先にオーディオソースをBluetoothオーディオを選択してAT-BTAUX経由の音声再生を行います。
モニターベゼルに有る「MEDIA」部分をロングタッチします。外部映像に切り換わります。
OS8では純正映像のTOPメニュー表示の時にはモニター右側のベゼル部分に「戻る」「MEDIA」「TEL」「NAV」が表示されません‥‥
ベゼルのアイコンが表示される画面に移動してから「MEDIA」をロングタッチします。外部映像に切り換わります。

● 純正画面に戻す方法



モニターの下側をタッチしますと純正映像に戻ります。
モニター右側ベゼルにある「BACK」「MEDIA」「TEL」「NAV」のショートタッチでも純正映像に戻ります。

※その他リバースアクション動作で一時的に純正映像に戻る動作も有ります。
（リバースアクション中は外部映像を呼び出せません。）

スマートフォンなどハンズフリー接続をする場合の注意

車両にスマートフォンのBluetooth接続設定をする場合は、スマートフォン側の設定で車両とのBluetooth接続設定でメディアのオーディオをOFFにしてご使用下さい。
Bluetoothオーディオとしてスマートフォンのメディア再生は出来なくなりますが、メディア再生はCarplay or AndroidautoでWi-Fi経由で再生可能です。
Bluetoothオーディオ接続は外部AV機器再生のAT-BTAUXで使用します。
他の機器の登録が有ると起動時にどちらが選択されるか判りません‥‥
またAT-BTAUX接続が確立しても、車両が他のBluetoothオーディオ接続を検索する際に音声にノイズが混入しますので、他のBluetoothオーディオ機器は登録しないようにして下さい。

外部AV映像の表示パターンの変更方法

外部AV映像の表示パターンの変更方法

外部AV映像の表示パターンには外部映像FULL表示、外部映像16:9表示+操作アイコン、外部映像FULL+純正映像小窓表示、純正映像FULL+外部映像小窓表示の4パターンが有ります。
外部AV映像の中心部分をロングタッチしますと画面下側に表示サイズ変更アイコンが表示されます。
お好みの表示方法を選択して下さい。

❶ 外部AV映像FULLスクリーン
純正映像に戻すには画面の下部分をタッチするかモニターベゼルのアイコンタッチします。

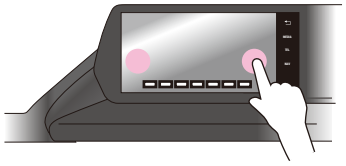
❷ 外部AV映像16:9表示して右側にアイコンを縦表示
純正映像に戻すには画面の下部分をタッチするかモニターベゼルのアイコンタッチします。

❸ 外部AV映像FULLスクリーンに純正映像小窓表示
小窓表示の純正映像部分をショートタッチしますと④に切り換わります。
小窓表示の純正映像部分を↑フリック操作をしますと①の外部AV映像FULLスクリーンに戻せます。（記憶はされません）
純正映像のみに戻すには画面の下部分をタッチするかモニターベゼルのアイコンタッチします。

※小窓の純正映像がMAP以外を表示していてMAPにしたい場合、ベゼルのNAVアイコンをロングタッチする事で可能です。
※小窓の純正映像に警告バナーなどが表示されている場合は、ベゼルのBACKアイコンをロングタッチする事で前の画面に戻せます。

❹ 純正映像FULLスクリーンに外部AV映像小窓表示
※この表示では外部AV映像のタッチコントロール操作は出来ません。（ステアリングなどの操作は有効）
小窓表示の外部AV映像部分をショートタッチしますと③に切り換わります。
純正映像のみに戻すにはモニターベゼルのアイコンをタッチします。小窓のAV映像を↑フリック操作でも消せます。（記憶はされません）
※次回外部AV映像呼び出しも小窓表示で呼び出されますので表示方法を換えるには小窓のAV映像をタッチします。

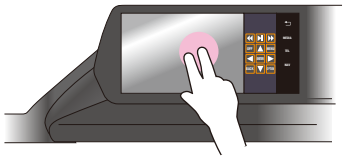
画面上に10キーアイコンの表示方法



VEMメニューで地デジコントロールの設定を選択している状態の時は地デジ映像の右側/左側いずれかをタッチする事で画面下側に10キーアイコンが表示されます。10キーをタッチする事でダイレクトにお好みの放送局に切り換え可能です。

操作しない場合は約3秒で消えます。

画面上に操作アイコンの表示方法



一部機能を操作する為の操作アイコンを呼び出す操作です。
外部AV映像の中心部分を2本指を使い2点タッチします。（2点間は20mmほど離れるようにタッチして下さい。）
映像が左側に圧縮され右側に操作系のアイコンが表示され操作出来ます。「OFF」アイコンをタッチすると元に戻ります。

※全てのアイコンが動作出来る訳では無く操作出来ないアイコンも有ります。ご了承下さい。
※この操作アイコン表示中は他の操作アイコン表示操作は出来ません。
「OFF」アイコン操作をして消してから行って下さい。

外部AV入力のソース切換方法（小窓表示は除外）

外部AV映像が表示されている中央部分を「トン、トン」と2連打でタッチ操作を行ってください。
画面下側に切換可能な外部AVソースアイコンが表示されますので、ご希望の外部AVソースアイコンをタッチします。
選択した外部AVソースに切り換わります。
外部AVソースアイコンは3秒間操作しないと消去されます。

※VEMメニューで「NOT USE」を選択した入力は表示されません。

リバースアクションによる動作

バックギヤに入れる事で自動的に外部AV映像から純正映像に戻ります。
PDC優先動作でリバースアクションが動作する設定の場合はバックギヤを抜いてもカメラ&PDCの画面のままです。
PDCをOFFにする事で元の外部AV映像に戻ります。

※前進走行を少しする事でもカメラ&PDCはOFFになるので元の画面に戻ります。
※PDC-ONの状態では外部映像やVEMメニューは呼び出せません。呼び出し操作をすると警告表示します。

バックギヤ連動動作でリバースアクションが動作する設定の場合はバックギヤから抜いた直後に元の外部AV映像に戻ります。

※この設定ではPDC検査はしませんのでオートPDC機能による動作にはリバースアクションは追従しません。
※バックギヤに入ったままですと外部映像やVEMメニューは呼び出せません。